平成23年度事業報告

1. 概況

東日本大震災を受け日本経済の景気後退が懸念される厳しい事業環境を背景に、日本ジュエリー協会では今年度の基本方針を①国内市場の拡大化策の実施、②海外ビジネス拡大支援、③一般社団法人としての体制の確立とした。

特に国内事業の活性化は急務の課題として取り組み、かつての事業活動の枠組、予算規模などを総合的に見直し、「ジュエリーつながり愛キャンペーン」を平成23年9月にスタートさせた。海外ビジネス拡大についても、海外の事業者に向け日本ジュエリーの良さをPRする目的で、23年9月の「香港ジュエリー&ジェムフェア」で2年連続のPR活動を行った。これらの活性化事業では、今後の成果に大きな期待を寄せているところである。

一方、公益法人制度改革により、当協会は新法の下の一般社団法人への移行申請を前年度末に行っていた。本年度、一部定款の修正に対応したが平成23年7月8日に内閣府より移行認可を受理するに至った。新法人への移行登記を平成23年10月3日付けで完了した。

なお、年初立案の事業計画は進行中であり、一般社団法人への移行後も継続して活動を 行うものとする。

2. 各事業

(1) 相談·助言事業

悪質業者による宝石・貴金属の訪問買取りが、大きな消費者問題になっていることに対し、協会ホームページで、会員向けには事業者としての姿勢を、消費者向けには注意を喚起する呼びかけを行った。また、行政の買取り問題に対する法制化の動きには適宜協力をしている。消費者相談には従来通り有資格者が窓口となり対応している。

(2) 調査・規格事業

「真珠の定義および命名法に関する規定」の改定について検討を進めた。また、ダイヤモンドのグレーディング調査は継続中。業況調査 7~9 月までの調査を完了。JJAレポート 2回/半年を発行済み。その他ほぼ計画に沿って実行した。

(3) 資格付与事業

8/3 にジュエリーコーディネーター検定試験を東京、名古屋、大阪、福岡で実施した。 各級の合格者は、3 級合格者 416 名(前年 400 名)合格率 60.2%(前年 51.7%)、2 級合格者 60 名(前年 86 名)合格率 25.9%(前年 28.1%)、1 級 1 次合格者 5 名(前年 7 名)、合格率 35.7%(前年 31.8%)であった。受験者は減少傾向である。2012 年 3 月 4 日には 3 級検定試験を実施予定である。一方、維持会費事業である更新講習会、 資格者向け JC 情報誌発行は計画通り実施した。

(4) 講座・セミナー・育成事業

3年継続した日タイ合同のカラーストーンセミナーは本年8月を持って終了した。受講者アンケートからも有意義であったなどの声があがり、大きな成果があった。一般のセミナーは7回/半年を予定通り実施した。技能者育成支援事業に関しては、永年

の技能検定、技能五輪大会などへの支援活動が評価され、本年 11 月に厚生労働大臣 表彰を受けた。なお、本年よりジュエリー製造協議会へこれらの技能者育成支援事業 を委託、1、2級の技能検定支援が実施されている。

(5) ビジネス支援事業

国内活性化事業として、JJF 初日に「ジュエリーつながり愛キャンペーン」のキックオフを行った。参加企業は、9/12 現在、オフィシャルメーカー・卸(5 社)、オフィシャルメーカー・卸グループ(3 社)、オフィシャルリテイラー(4 社)である、他後援1 社。9/25 にはチャリティーイベント(於表参道ヒルズ)を実施。イベント参加者約300名、業界紙含むマスコミ18メディアが集まり、石田純一夫妻のトークショー、募金などを行った。また、10/11~24 にはTBS及びテレビ朝日の関東全域にて「奇跡のプロポーズ」篇のCM放映がスタートする。

海外ビジネス支援事業としては、9/21~25 開催の香港ジュエリー&ジェムフェア 2011 の JJA ブースにて、ジュエリーデザインアワード 2011 入賞作品 12 作品 24 点、ジュエリーつながり愛キャンペーン商品 4 点、その他業者協力商品 8 作品 15 点を展示し、日本ジュエリーの PR を行った。参加日本企業 173 社。日本製品への関心の高さが感じられ、PR の成果も得られた。

(6) 展示会事業

例年通り、 $9/1\sim3$ に東京ビッグサイトにて JJF を実施した。大型台風接近による来場者の足への影響および原発に対する警戒による海外バイヤーの減少があり、合計では前年の来場者数を下回った。来場者数は、3 日間合計 13,368 名(前年 14,349 名)であった。なお、IJT は 2012 年 1/11 開催の予定である。

(7) コンクール事業

JJA ジュエリーデザインアワード 2011 には、全国から 119 作品 216 点の応募があり、 7/12 の審査会を経て、33 作品 75 点が入賞した。上位 5 賞受賞者及び特別賞受賞者は JJF2011 にて表彰式を行った。